

## 子どもたちとの出会い～韓国ソウルでの夏休み～

7月20日(月)2週間の自宅隔離が終わり、ついに学校へと向かいました。ちなみに、自宅隔離の2週間もソウルの自宅からオンライン授業を続けました。ソウルの教育庁の指導で、20日から通常授業開始のGOが出て、登校が始まったのです。

その日朝教室で待っていると、「みんなみんな、見てみて、本物本物…」という声が(笑)これは2020年ならではの「あるある」だなと感じたのです。PCの画面上ではずっと会っていたのに、本当に会えるのはこの日(7月20日)が初めてだったのです。なんか変な感じでした。この日から通常授業が始まり、テスト、体育、学活、理科の実験などオンライン授業ではなかなかできないことを集中して実施していきました。

わずか2週間の授業の後、8月1日から2週間夏休みに入りました。そんな中、夏休み中に星の観察をお願いしました。夏休みの2週間はずっと雨でした。前期の後半8月18日(火)から授業再開。ところが、再びコロナの感染が拡大し、9月からオンライン授業に。この期間に下記のようなことをお願いしたのです。

先週から無理を言って、各ご家庭に星の観察をお願いしてすみません。これについては、夜学校に集合してみんなで夜空を眺めるというわけにはいかないの、無理を言ってご協力をお願いしました。

私も先週日曜日、夏の大三角とアークトゥルスを見ることができました。みなさんをお願いしておきながら、自分自身こんな大都会ソウルでは星は見ることができないかなって思っていました。8時過ぎ、まだ少し空が明るい中、自宅を下りていくとやはり周りにたくさんの高い建物があつたり、ビルの明かりが光っていたりして見えませんでした。そこで、場所を変更。歩いて10分ほどの、ワールドカップ公園へ移動しました。公園内に入ると、サッカー場くらいの芝生スペースがあり、これはいけるのでは、と思い空を眺めました。西の方角にきれいに三日月が見え「よーし!」。携帯を取り出して東西南北を確認、東を向いてそのまま首だけ真上にあげてみると「やったー」雲が出てきたので、うっすらでしたが、確かに空に青白く輝く星が3つ。ベガを頂点に左にデネブ、右にアルタイル。これを結ぶと確かにきれいな三角が見えました。これには感動し、思わず「すごい」と大きな声が漏れてしまいました。大都会ソウルで夏の大三角を見ることができたこの感動は、私自身のソウルでの素敵な思い出になりました。

そのまま、回れ右をして西の空を見ると、三日月が輝きをはなっており、その明るさのためなかなか見えづらいのですが、その右横にオレンジに光るアークトゥルスがありました。そして、そこから左に少し視点を変えると授業ではやっていないのですが、北斗七星もうっすら見え、いい時間を過ごすことができました。

来週からまた自宅待機でオンライン授業になりますが、もし、安全が確保されて、家の人がついてくだされば、自分の目で「ソウルの星」見てほしいと思います。



## 韓国を歩くその① (8/14 KTXで釜山・慶州へ)



ここまで(4, 5, 6, 7月号)読んでいただくともうお分かりかと思いますが、「三度の飯より旅」が好き。そして、とにかく鉄道旅が！いわゆる「鉄ちゃん」です。夏休中の1日だけ、教頭の許可を得て、KTX(韓国新幹線)でソウルから朝鮮半島の南、釜山まで約420キロを日帰りで旅してきました。ソウル駅7:52発KTX13号で出発。時間ぴったりにホームを滑り出し、約15分で在来線と別れ新線に入ります。すると一気にスピードアップ。最高速度305キロ。

**(フランスTGVベースの初期型です)** 釜山までの417.4キロを2時間20分で駆け抜け、10時12分、時間通りに到着しました。ソウルは2週間ずっと雨だったのに、釜山はこの日(8月14日)快晴で、ようやく夏休みの雰囲気を楽しみました。



ただ、釜山は人が多く、海鮮市場など行きたかったのですがキャンセル。駅からすぐ近くの釜山タワーへ行き、展望台から釜山の街を一望しただけ。

帰りに古都慶州(キョンジュ)に寄りました。ここでもSRTダリアンと呼ばれるコレイルの子会社SR社の車両に乗りたくて、釜山から(新)慶州まで約80キロを28分間乗車しました。

**(釜山タワーへの階段キツイ！)**

新慶州には午後1時半に到着。ここは昔の新羅の都。歴史好きにはたまらない世界遺産の街です。この街は2つの世界遺産のスポットがあり、「慶州歴史地域」と郊外の「石窟庵と仏国寺」です。今回は後者を選び、タクシーに乗りました。新慶州駅は街からかなり離れているので、郊外の「石窟庵と仏国寺」を選びました。



タクシーで約30分、まずは山の上石窟庵へ。774年に完成した花崗岩をドーム型に組んだ天井の下に大きな釈迦如来坐像が堂々と鎮座。(中は写真撮影禁止)

韓国仏教芸術の最高峰と言われているそうです。そこから少し山を下り仏国寺へ。吐含山の中腹に位置する寺院で、751年に建立された新羅の仏教文化の中心だったそう。実はここ、秀吉の文禄・慶長の役で焼失しています。今回の旅、新幹線に乗ることが目的だったので、観光はゆっくりまたを考えています。



**(建物の向こうの山に、釈迦如来像が)**



**(新羅の仏教文化の中心仏国寺)**